



# 2021-2022 いわき平中央 ロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

クラブ | 持続可能なロータリークラブ活動、30周年へ向けて  
テーマ | いわき平中央ロータリークラブの想いの継承とDXへの変化対応

2021年10月15日(金) 第1340回(年度第13回)

■事務所 / 〒970-8026 福島県いわき市平字白銀町4-1  
不二屋第二ビル 2F TEL&FAX0246-25-3000  
■例会場 / 〒970-8026 福島県いわき市平字田町1-1  
いわきワシントンホテル椿山荘 TEL0246-35-3373  
■例会日 / 金曜日 12:30~13:30

## 今日のプログラム

- 開会点鐘
- ソング / 我らの生業
- 四つのテスト /  
田久昌次郎会員
- 会長挨拶
- 幹事報告
- 会員卓話 /  
三戸豪士会員
- 閉会点鐘



## 出席 & スマイル

○出席  
12名 39%  
ゲスト1名

○スマイル  
9名 9,000円



ご協力  
ありがとう  
ございます♪



## 会長挨拶

今月は「米山月間」になっており、先週はルックワちゃんに卓話をいただきました。

1952年、東京ロータリークラブ「米山基金」での始まり、日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、後世まで残るような有益な事業を行いたいと設立されております。

0から1をつくるのが、事業創出の中での力が一番必要とされております。

その米山梅吉さんが「例会は人生の道場」との言葉を残されております。

「ロータリーの友」に掲載されているガイ・ガンティカーの「ロータリークラブの基本」のコラム「ロータリークラブの構成と目的」として掲げた中で、第1の「会員一人一人の向上」ですが「例会は人生の道場」の表現を現代風に置き換えると、

- ① 事業経営や社会生活上の視野、見識向上に役に立つスピーチ
- ② 多様な学びと意欲の喚起
- ③ 奉仕の心の育成
- ④ 自己の成長、発展
- ⑤ リーダーシップの育成

以上5つの項目を取り上げています。

まだまだ、ロータリーを走りながら勉強中ですが、



お一人お一人がクラブを構成している中で、例会の重要性を先輩がおっしゃられてました。生前の猪狩武久さんも欠かさず例会に出席されていた時も頭が下がる想いです。今いらっしらなくても、先週の例会に想いは出席された武久さんです。武久さんの代わりに、奥様からの平中央への想いをつなぐご寄付にあらためて感謝です。

本日は、0から1を作り上げて、新聞などに取り上げられている磐城農業高校生との支援コラボをされている三戸さんの卓話です。これからのロータリーの事業も若さ溢れる情熱で、0から1を作り上げるお一人です。よろしくをお願いします。



## 幹事報告

1. 例会終了後理事会を開催
2. 鈴木喬二会員宛にメジャードナー午餐会の案内(於: The Okura Tokyo) が来ました。皆さんもメジャードナーになれるよう頑張ってください！



## 今日の MENU



鯖のポワレ  
スープ  
サラダ  
パン  
デザート



3

会員卓話

三戸豪士会員

「磐農ビジネスクラブ  
について」



私は本業の傍ら、いわき若者応援会の活動を2015年頃から行ってきました。

『いわきの若者を多方面から支援する』事をコンセプトに、少子化問題、若手人材不足、若者離れの問題にむけての取り組み、若手人材育成と送り出しに特化しているフィリピンとの国際交流、災害支援に関する事まで、活動は多岐にわたりました。その活動を通じて、若者を支援する事の大切さと、地域の課題を感じる事ができました。そして『あ!! 農業がポイントだ!!』と、気づいたので。

理由としては、たくさんありすぎて書ききれませんが、自身が元々健康管理の一環として植物の勉強(学会含む)と畑での実務を行っていた事、地域の素材を活かした石けんブランドANDANTEを作り上げていた事などが主な理由です。農業は若者支援と地域振興に関しての共通課題であると同時に、突破口であると考えました。そして令和2年、本格始動するべく、農業の会社『いわき農業マネジメント合同会社』を設立しました。

2020年8月に福島県立磐城農業高等学校の全校生徒466人に対しアンケートを行いました。全校生徒の過半数が農業を楽しんでいるのに対して、その内、実際に農業に就農している生徒が1%程度であり、磐農の卒業生が、年間1~3名程度しか農業に携われない原因は、新規就農に係る環境が良くないと考えていることが一番でした。(農地取得が困難、資金繰りが困難、農家の高齢化) また、農業高校の生徒達の支援及び環境整備を行う事が、地域の経済と話題性に発展する事から、若者支援と地域振興の両立が可能だと確信しました。

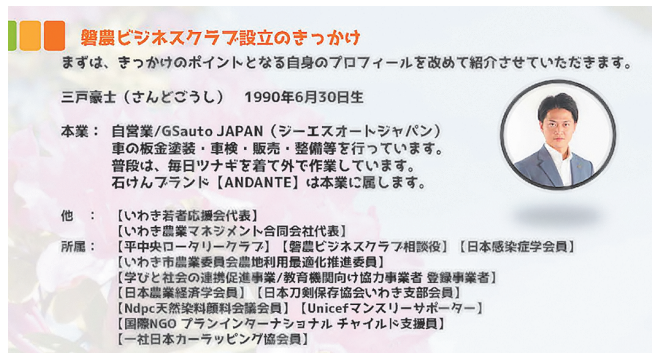
そこで、翌月「磐農ビジネスクラブ」を設立しました。生徒たちと話し合い、次の事業について取り組むことになりました。

- ①磐農が育てている梨の内、規格外の梨を活用した梨の石けん商品開発
  - ②常磐炭鉱跡地を利用した地下農業プロジェクト
  - ③フードドライヤーを使用した乾燥野菜の商品開発
  - ④規格外の野菜を使用したクレヨンの商品開発
- その中で早速①の梨の石けん「BANNO SOAP」が生

まれ、商品化となりました。

現在イオン他で販売しております。次世代の支援、健全な環境整備を行うのは、他ならぬ大人達である事実を胸に、これからも磐農ビジネスクラブ相談役として磐農と共に歩み続けたいと思います。

今後、ロータリークラブとしても何か支援の方法があれば、先輩方からのご教授を賜りながら、若者たちを応援していきたいと考えております。



4

スマイル

- 小澤准一会長/いよいよ来週ガバナー公式訪問です。緊張しております。皆様のご協力よろしくお願い致します。先週は猪狩武久さんの奥様より多大な寄付に感謝です。
- 大平守彦幹事 ●松本三智代会員/やっと秋らしいさわやかな季節になってきました。コロナも少し落ち着いてきています。皆様ロータリーを楽しみましょう。
- 大平守彦幹事 ●松本三智代会員 ●鈴木一永会員
- 青木喜三郎会員 ●田久昌次郎会員/三戸さん本日の卓話楽しみに拝聴させて頂きます。よろしくお願い致します。
- 田久昌次郎会員/いつまでも暑いですね。秋は到来せずに一足飛びに冬が来そうな気配です。
- 木内弘道会員/例会で顔を合わせられる事が楽しみです。皆様も是非出席して下さいませ!
- 曾我泉美会員/当社で発行している情報誌「朝日SALLY」が本日折込の号で400号を迎えました。33年発行し続けられたのは地域の皆様に支えられてこそと感謝申し上げます!
- 今野建男会員/10月半ばというのに25℃にもなる時があります。体調には充分気をつけましょう。

